

昭和54年8月6日発行

岐阜県の プラスチック

特集・食品衛生法と品質表示規程の改正 第32号



技能検定が始まる

実技15人、学科18人参加

技能検定協会と当工業組合の主催で『54年度技能検定』が始った。ことしのプラスチック成形（射出成形作業）の実技試験参加者は、2級ばかり15人、昨年に比べると1級受験者が

なく、2級受験者は2人多かった。検定試験は7月17日から20日までの4日間、羽島郡笠松町にある岐阜県工業技術センターの高分子加工実験室で実施された。

検定は射出成形機2台を使用、背番号を付けた受験者が1台に1人ずつ作業を行ない、検定委員らが採点した。（2面に関連記事、上の写真は実技の検定風景）

岐阜県プラスチック工業組合会報

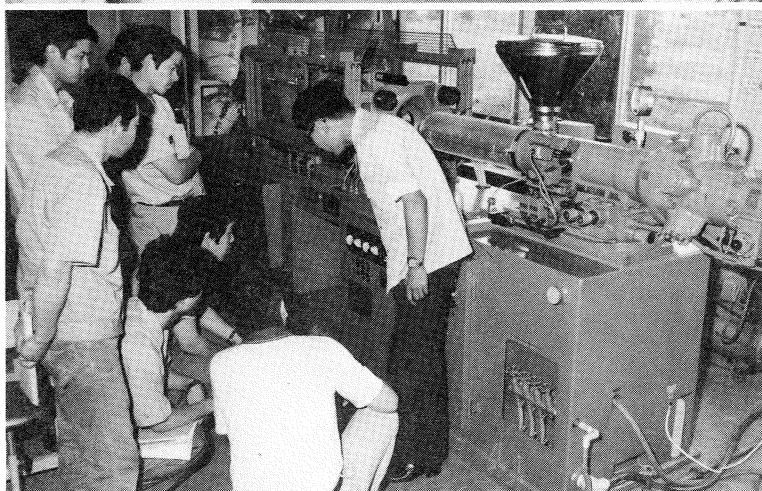
成形機と取組む3時間

技術センターで技能検定実施

学科試験は9月，18人が参加

54年度技能検定の実技試験に参加した人は林修君（岐阜プラスチック工業勤務）ら15人。実技試験は大松春雄主席検定委員ら5人（武藤昭三、納土栄一郎、足立弘之、関谷裕彦の各氏）の検定委員や関係者が見守る中で行なわれた。

試験時間は3時間（予備30分）で、試験課題はプラスチックケースを2種類40個を成形した。検定試験はたんなる成形作業だけでなく、運転前の点検、金型の取付け、型締力の調整、リミットスイッチの調整など事前、事後の作業まで採点対象になるとあって、15人の受検者は長時間にわたり緊張の連続であった。この実技検定に続いて9月9日、岐阜市学園町2、岐阜県人材開発センターで行なわれる。学科受検者は大淵恒治君（三甲勤務）ら18人もあった。



なお、検定に先だって射出成形機の加工技術と機械取り扱いについての事前講習会が行なわれた。（写真は上が開講式であいさつする大松理事長、下は住友重機械、日精樹脂の機械に分かれて行なった取り扱い実習）

海外視察団を派遣 当工組シンガポールへ

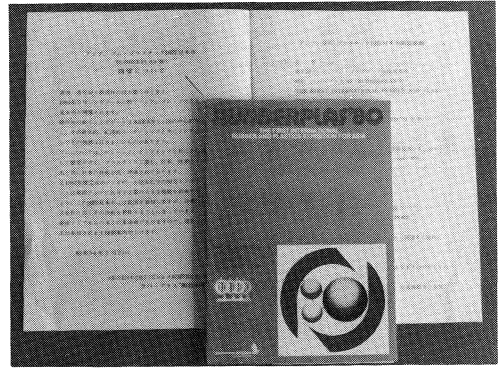
当工業組合はこのほど理事会を開き、来年5月にシンガポールで開催企画している『アジア、ゴム・プラスチック国際見本市』へ視察団を派遣することを決め、参加者の募集を開始した。視察の参加要項はすでに組合員の皆さんへ郵送したとおりで、日程は5泊6日、費用は宿泊費を含め20万円ぐらいかかります。参加希望される方は組合事務局へご連絡下さい。

5泊6日の予定で見本市視察

アジア、ゴム・プラスチック国際見本市（略称ラバープラス）は英国のI・T・Fが主催、会期は5月26日から30日までの5日間。開催場所はシンガポールの世界貿易センター3号館。会場規模は約5,000平米で、日本ブースは約900平方メートルが予定される。

日本側の出品物は合成ゴム、プラスチック原料、これに関連する原料、副資材、ゴム、プラスチック成形品、ゴム・プラスチック成形加工機械、付属機器、金型などの出品が予定されている。

見本市が開催されるシンガポールは、アセア



ン5カ国の中心的存在で、その政治的、経済的リーダーシップと共にアジアの工業国としてめざましい。ゴムについては、マレーシア、インドネシアと共にその資源国として歴史は古く、プラスチック工業も日本、欧米メーカーの進出があり、とくに日本の技術が高く評価されている。（写真は組合へ到着した案内書）

動く青少年の仲間づくり研修会

中小企業に働く勤労青少年を対象に『動く青少年の仲間づくり研修会』が、中小企業団体中央会の主催で開催される。期日は9月15日から2日間で、研修場所は国立兼鞍青年の家。

テーマは「職業と人生観」で、同世代の勤労青少年と交歓を通じて人間関係のあり方を学び、企業内のリーダーとして資質を高めてもらう。参加資格は25歳未満の男女。希望は工組へ。



秋元産業株式会社

本 社 東京都中央区八重洲5の7
名古屋営業所 名古屋市中村区米屋町2(埼玉ビル9F)
TEL <052> 582-5071

2法改正 食品衛生と品質表示規程

食品衛生法の改正

樹脂別に個別規正

プラスチック製器具および容器包装の安全性は、これまで塩化ビニール樹脂のみを対象とした厚生省告示第178号と、その他の樹脂すべてを対象とした同434号によって規制されていたが、このほど434号が改正され、新たに厚生省昭和54年告示第98号として告示された。

同時に塩ビ製品の試験法の一部も改正された。塩化ビニール、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリスチレン以外の樹脂は従来どおり434号が適用される。

3樹脂製品に厳しい規格基準

主な改正点は、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリスチレン（温湯食品用発泡スチロールを含む）の3樹脂製品について、厳しい規格基準が設けられた。これによってプラスチック製品の安全性を確保するための法規制は、世界でもっとも厳しく、キメの細かいものになった。改正点の主な点は次のとおりである。

①ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリスチ

レン容器の溶出試験には、内容食品の種類によって、それぞれn-ヘプタン、20%アルコール、水、4%酢酸を浸出溶液として用いる。

②ポリエチレンおよびポリプロピレン製器具または容器、包装材の材質中のカドミウムおよび鉛は塩ビと同じく100ppm以下とする。

③両樹脂製品から溶出する重金属は、鉛で1ppm以下とする。また、蒸発残留物は総計80ppm以下とする。過マンガン酸カリウム消費量は10ppm以下。

④ポリスチレン製品の材質中のカドミウムおよび鉛の含有量は同じく100ppm以下とする。

⑤同製品の材質中に残存するスチレン、トルエンなどの揮発性成分は、合計で5,000ppm以下とする。ただし、温湯用の発泡スチロール製品の揮発性成分の合計は2,000ppm以下とし、スチレン、エチルベンゼンはそれぞれ1,000ppm以下とする。

⑥ポリスチレン製品から溶出する重金属は1ppm以下、蒸発残留物は30ppm以下、過マンガン酸カリウム消費量は10ppm以下とする。

三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂

NOVAMID
ノバミッド

ポリカーボネート樹脂

NOVAREX[®]
ノバレックス

PBT樹脂

NOVADUR
ノバドゥール

中低圧ポリエチレン

ポリエチレン

NOVATEC

高圧ポリエチレン

NOVATEC-L



三菱化成工業株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル
電話 03(283)6111(大代表) (千100)

品質表示規程の改正

新たに4種類追加

プラスチック家庭用品を対象にした家庭用品品質表示法が改正、告示された。施行は55年4月1日からで、主な改正点は次のようである。

①これまで同表示法の対象となっていたプラスチック製品は『洗面器、たらい、バケツおよび浴室用の器具』『かご』『盆』『水筒』『食事用、食卓用または台所用器具』の5種類であったが、新たに『ポリエチレンフィルムまたはポリプロピレンフィルムの袋』『湯たんぽ』『便所用の器具』『浴そうふた』『湯かき棒その他の浴室用器具』『製水用器具』などが追加された。

②原料樹脂の種類が新しく『飽和ポリエステル樹脂』『ポリ塩化ビニリデン』『ポリブタジエン』『EVA樹脂』が追加された。なお『スチロール樹脂』は『ポリスチレン』と呼んでもよいことになった。

③食器類や弁当箱は従来『簡略表示』で、対熱温度の代りに『沸騰水に耐える』とか『繰返し煮沸可』と使用上の具体的な表示をしていたが、改正では対熱温度だけを表示する。

④『取扱上の注意』の表示内容が変更追加となった。例えばスチロール樹脂製食品容器には『レモン等柑きつ類の皮に含まれるテルペンまたは油脂によって変質することがある』という注意表示をつける。

⑤表示の枠は、形が自由となり25平方センチメートル以上であればよい。

なお、メーカーは改正によって金型の刻印の見直しと修正が必要である。旧表示による在庫品は55年4月1日までに処理し、施行後は新しい品質表示ラベルを貼付する必要がある。

合成樹脂加工品の表示事項

合 成 樹 脂 加 工 品		様式 の 番 号	表示すべき事項								
			原 料 樹 脂	耐 熱 温 度	耐 冷 温 度	容 量	寸 法	枚 数	取 扱 い 上 の 注 意	表 示 者	
洗面器、たらい バケツ及び浴室 用の器具	洗面器	1	○	○	○				○	○	
	たらい及びバケツ	2	○	○	○	○			○	○	
	ベビーバス及び湯かけ	3	○	○		○			○	○	
	浴そうふた	4	○	○			○		○	○	
	湯かき棒その他の浴室用の器具(以下「湯かき棒等」という。)	5	○	○					○	○	
かご		6	○						○	○	
盆		5	○	○					○	○	
水筒		3	○	○		○			○	○	
食事用、食卓用 又は台所用の器 具	ごみ容器、その他のふた付容器、洗いかけ、冷蔵庫用水筒、冷蔵庫用密閉容器等の容器(皿及びざる、はし立て、パンケース等の容量表示を必要としない容器を除く。以下「台所容器等」という。)	2	○	○	○	○				○	○
	皿	1	○	○	○				○	○	
	ざる、はし立て、パンケース等の容量表示を必要としない容器(以下「ざる等」という。)	5	○	○					○	○	
	まな板	1	○	○	○				○	○	
	製氷用器具	1	○	○	○				○	○	
	その他のもの(以下「食事用の器具等」という。)	7	○	○						○	
ポリエチレンフィルム製又はポリプロピレンフィルム製の袋(フィルムの厚さが0.05ミリメートル以下で、かつ個装の単位が百枚未満のものに限る。以下同じ。)		8	○		○		○	○	○	○	
湯たんぽ		3	○	○		○			○	○	
可兼型便器及び便所用の器具(固定式のものを除く。以下同じ。)		5	○	○					○	○	

大松理事長 が動向説明

樹脂値上げまだ続く



大松理事長

『原油20ドル時代』の到来で石油化学原料は軒並みに値上がり、業界関係者の不安は高まるばかり。そこで工組理事会で大松理事長が『原油の供給とその背景』についての発言を取り上げ、経営の参考に供することにした。

近年、原油の生産と消費のバランスがとれていっているのになぜ価格だけが急上昇しているのかというと、一時的にはイランの政変による減産、長期的にはドル安に伴うオペックの相次ぐ原油値上げなどが増幅しあったからといえる。

幸い今年に入ってからイランの原油生産は回復、なお、その不足分はサウジアラビアが肩代り生産、その他中東以外の国々も増産している。それなのにメジャーは、日本の原油供給を2割カットか3割カットを通告している。このため政府間輸入や商社の直接輸入が行なわれるようになったわけだが、果たしてメジャーは通告通り原油供給をカットしてくるかどうか動向のカギである。

ナフサ急騰が原油高騰の引き金

極端な増産も減産もなく、生産のバランスがとれているのに、なぜ、供給カットが行なわれ一方で価格が急上昇しているのか。一つはドルの減価が大きな要因で、為替相場においてもドルは大幅に値下がりが続けているからだ。早くいえば、米国が国際通貨であるドルをタレ流したからである。昨年とはくにドル安がひどくドルの価値は大きく消失してしまった。結果的にオペック諸国側からすると、ドル安によって原油が大幅値下がりしたのと同じである。

ドルが急落するのと逆に、原油価格は値上がり続け、4月にオペックは原油の実勢価格を認めて1バーレル12ドル50セントとした。さらにオペックはジュネーブで開いた6月総会で1バーレル20ドルの原油価格を決めた。オ

ペック側からすると、ドル安にともなう実勢価格の上昇を追うような形で原油価格を決めたことになる。

これは6月に20ドルの原油価格を決めるとき、すでにナフサの国際価格は、20ドル原油のベースを大きく突き抜ける水準へハネ上がっていたからだ。

加工業者の課題は製品価格への転嫁

以上のような原油供給を背景に原料樹脂需給の推移はどうなるのか。まず、ことしの足跡からみると、1～3月はどうも仮需が多い。仮需がとくに目立ったのは自動車と家電業界。2つの業界は資金に余裕があり、原料値上がりを見込んで長期、少なくとも年内分の原料手当てをしたといわれる。これ以外の業界には大きな仮需は考えられない。

原料樹脂の価格はどうかというと、1～2月までに、高騰していた国産ナフサに見合う価格へ修正した。4月に入ってから一律値上げを実施。さらに5月から6月にかけてまた値上げ、年初から通算すると、原料樹脂は平均5割ぐらい値上がりしたことはご承知の通りである。

そんな経過の中で原料樹脂メーカーは、7月、8月と相次ぎ値上げ通告している。原料は完全に売り手市場になっているわけで、こんごの問題点は末端消費者が樹脂メーカーの値上げ攻勢をどの程度許容するかである。とくに成形加工業者にとっては『原料樹脂の高騰を製品価格へどのように転嫁していくか』が生存できるか否かのカギになろう。

◎県下の廃棄物調査まとまる◎

岐阜県の産業廃棄物実態調査によると、県下の産業廃棄物総量は月間約22万8,650トンにのぼることがわかった。そのうち製造業から排出する量は約40%にあたる月間約9万トン。

排出物の種類別では窯業土石業から出る無機性汚泥がトップ、次いで木くず、有機性汚泥、鋳さい、金属くず、廃プラスチック類の順。廃プラスチック類の量は約1,750トンにのぼる。

◎世界最大の射出成形機受注◎

東芝機械はこのほど型締力5,000トンという世界最大の射出成形機「IS5,000DN-400」を豊川市の国城金型工業から受注した。国城金型工業では太陽熱発電をめざした超大型フレネルレンズの成形用に使用する。東芝機械はこの超大型射出成形機を年内に完成したいとしているが、製作に当たっては経済性を重視、ランニングコストの安い省エネルギータイプのマシンにする方針。

主な仕様は▽型締力=5,000トン▽タイプ-間隔=2,500×1,640ミリ▽プレート寸法=3,400×2,800ミリ▽型締ストローク=3,150ミリ▽スクリー-径=200ミリ▽射出量=23キログラム▽機械寸法=24×6.3×4.7メートル▽重量=410トン。

◎高接着強度のグレード開発◎

昭和高分子は、エポキシアクリレート系樹脂「リポキシ」で耐蝕FRP分野に圧倒的なシェアを誇っているが、新たに「RT833」「RT933」の2グレードを開発した。

新グレードは従来の長所である耐薬品性、耐候性に加えて、接着強度、伸び率の点で大幅に改善されている。また、剛性が非常に高く、T

字はく離強度、せん断接着強度も従来品を上回っている。

用途は紙パルプ、繊維、化学装置などの従来の用途はもちろん接着力を生かして鉄との複合による各種構造材、ライニング分野、大型成形品分野などが考えられる。

◎顔料の樹脂表面融着法確立◎

涛和化学は自社開発した顔料の樹脂表面融着法を複合プラスチックの製造に応用する方法を確立、大阪、名古屋、東京の3工場で月産千トンの加工設備を増設した。

開発した複合プラスチックの製造法は、熱風と摩擦熱で樹脂表面を軟化させ、無機物を融着する仕組み。従来の側熱方式と異なり、混合機の中央部から加熱するため、均一な配合が得られる。こんごオレフィン系樹脂およびナイロンの委託加工販売に乗り出す。

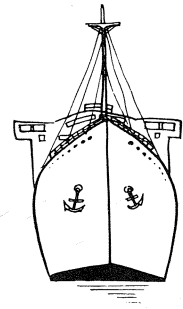
出入国手続きのABC

雑学事典

一般人の外国旅行では、国が変わるたびに「身柄」の確認を受けなくてはならない。それを「出入国管理」と呼ぶが、これは当人がどこの国の何者であるかを示す身分証明書「旅券」(パスポート)があればよい。

国によってはそのうえに「入国OK」の許可証というべき「査証」(ビザ)を必要とするところもあるが、近年は形式的にすまされるところが多い。旅行者にとって

やっかいなのは荷物の検査である。他国からの物品持ち込みについては、数量または金額の上で一定の基準を設けており、それに照らして荷物の検査をするからだ。国や旅行者によって扱いは大きな開きがある。



はさまれ事故が71%

52年度のプラ災害事故461件

労働省安全衛生部は各県労働基準局からの報告にもとづいて主要産業における労働災害状況をまとめているが、そのうち52年度におけるプラスチック成形加工の労働災害状況をピックアップしてみた。

集計対象は4日以上休業した災害事故で、プラスチック成形加工における事故件数は、全体で461件、うち射出成形加工時によるものが125件、その他の成形機によるものが336件となっている。

事故の種類は「はさまれ事故」が全体で330件（全体の71%）と最も多い。とくに射出成形では125件の事故のうち115件までがこの事故である。その他、事故がめだつのは「転倒事故」「感電事故」「切れ、すりむき事故」



労働保険
大きな安心、大きな信頼。

もう、お済みですか
労働保険料の申告・納付は4月1日から、しめきりは5月15日まで。
労働省・都道府県労働基準局・都道府県労働主官部

「飛来、落下物」「異常温度との接触事故」「激突事故」などがあげられる。

誤解しがちな『安全』問題

その一『自主管理』

① 『管理』についての誤解

敗戦直後の混乱期に、一部の過激な労働組合が「生産管理は我等労働者の手に」という「スローガン」を現場に流して紛争を起したことがありました。しかし、程なく経営者側の立直りとともに『管理』の主体はあくまでも経営者であって、労働者はそれへの協力者であることが理解されるにいたりました。協力の内容には、提案したり諮問に対して参画審議することも含まれます。

② 安全の『自主管理』

これは労働者、管理者、経営者いずれもが誤解しやすい問題です。すなわち関係者それぞれ

が法、規制などを自己流に解釈して、さらにその中から勝手に規制事項を選んでそれだけを管理の課題とする態度が見られます。これは本来の『自主管理』ではありません。

労働安全問題について述べて『労働安全衛生法』とか『労働安全衛生規則』などの関係法規を完全に守るだけでなく、それにプラスして自社の事業場の特異性に応じた『ルール』を強化、追加制定して管理することこそ『自主管理』です。

例えば『労働安全衛生規則』第522条に『強風、大雨、大雪等の悪天候のときは高所作業を行わないこと』と述べてあるが強風を避けるのはもちろん小雨、小雪の天候時には高所作業を行わせないことが『自主管理』です。〔A I U顧問・労働安全コンサルタント＝名越助廣〕

デザインコーナー

『ホンネ』を明らかに

時代のニーズ、消費者のニーズをどのように調べ、新製品開発のなかに盛りこめばよいのだろうか。このところマーケティングがずいぶん問題とされている。

今回は、そのマーケティング手法の一つとしてモチベーション・リサーチ（購買動機調査）についてふれてみたい。

この手法は、あらかじめ質問の設定された構成的な質問紙調査法で起りがちなタテマエ論に終始する欠点を埋めるものとされ、第三者を登場させ、意見を求めるというインタビュー方式で、比較的ホンネが出やすいとされている。

大まかには、大サンプル（300～1,000）をとって行なうマス・サーベイと小サンプル（20～50）を使って行なうグループインタビューの二つの方法がある。

例 質問紙（一問一答）調査法

問 あなたはバーやクラブによく行きますか。

答 よく行きます。

問 バーやクラブにはどのような目的のため

に行かれますか。

答 取引先を接待するために。

問 そのバーでどんなお酒を飲んでいますか。

答 スコッチです。

調査法をモチベーション・リサーチの手法で行った例を見ると、

問 一流のバーやクラブという言葉からあなたは何を連想されますか。

答 「高い」「接待」「美人」「ぜいたく」「雰囲気が良い」。

以下のブランクを適当な言葉で埋めて下さい。

問 接待したお客だけがクラブでモテルのは〇〇〇。

答 「当然だと思う」「くやしいと思う」「嫌な感じである」

となり、ホンネが比較的に出ていることがわかるが、コンピュータ集計の進んだ今、大量処理（マス・サーベイ）を行なう都合上、回答者の条件つき回答は無視され、どうしてもパターン化せざるを得なくモチベーション・リサーチの真の威力を失っているようである。

しかし、新製品開発を行なう際、最も身近なアイデア評価、商品評価には、まだまだその威力は十分に発揮できるものであり、事実、多くのデザイナー達も利用しているようである。

TOSHIBA

東芝機械株式会社

本社 東京都中央区銀座4丁目2-11

名古屋営業所 名古屋市中村区名駅4丁目7番23号

化工機課 TEL <052> 561-8341

成形品の曲面印刷に全力

前川美術工芸



前川一彦代表

組合員の工場訪問は郡上郡白鳥町の前川美術工芸（個人企業、従業員25人）を訪ねた。国道156号線を北上

し、白鳥町の市街地から山中を縫うようにしばらく東進すると工場がある。山間地の工場としては意外に大きく、規模は約1,000平方メートルの用地に約500平方メートルの鉄骨2階建て。

工場はゆったり、3台の自動、半自動印刷機からそれぞれ2本のコンベヤーラインが流れ出て、広いフロアを横切る。成形品の曲面印刷を専業とするだけに、他のプラスチック工場とは様子が少し違う。訪問した日はちょうどフロアの半分に、納品前の製品が山積されていた。

脱サラでスクリーン印刷習得

創業は昭和44年。代表の前川一彦さんは、それまで証券会社に勤務していた。その前川さんに脱サラ、独立のきっかけを与えたのがスクリーン印刷。いまでも全国的に業者数の少ない分野で、県内には2~3業者あるだけという。このスクリーン印刷の技術を身に付けた前川さんが最初に取り組んだのが、コンテナ容器の平面にユーザーの名前を印刷する仕事。ところが物が物だけに受注先の岐阜プラスチック工業の工場から運搬できず、出張印刷であった。

これをきっかけに岐阜プラのヒット商品『トレビアンシリーズ』（日用品）の曲面に絵柄を

印刷できないかと相談をうけた。何事にも研究熱心な前川さんは曲面印刷の新方法を見出し、トレビアンシリーズ成功のきっかけをつくった。また、これまでの平面印刷をやめて曲面印刷専門に切り替えた。

食品サンプル部門も軌道乗る

工場は当初、国道沿いにあったが、曲面印刷専門になった48年、生家の土地に現在の工場（写真下）を建設した。従業員は大半が地元の主婦で、男子は技術部門だけという。技術といえば、オイルショック時から手がけてきた新分野として食品サンプル生産部門が、近年の外食産業ブームに乗って軌道に乗ってきた。レストランや喫茶店の店頭を飾る食品の模型のことで、最近では利益面では曲面印刷部門と肩を並べる



ようになってきたようだ。

前川さんは『岐阜プラの印刷事業部門という心構えで、日用品の印刷加工に全力をあげていきたい。よく人から白鳥は山間へき地だと指摘されるが、東海北陸自動車道が60年完成をめざして着工したことや関東と北陸を結ぶ産業道路が具体化してきたことで、やがて白鳥は交通の要所になる』と、昭和18年生まれ、青年経営者は将来に胸をふくらませる。



2法の改正で説明会
会報の4～5頁に掲載しましたように、プラスチック製品を対象とした『食品衛生法厚生省告示』と『家庭用品質表示規程』が相次いで改正され、公示されました。内容は大幅で業界にとってはかなり厳しいものとなりました。会報には一部要点のみ掲載しま

したが、当工組では近く改正内容についての説明会を開催予定しています。開催案内書は近く郵送しますので、関係組合員の方々はぜひご出席して下さい。

ラバープラス視察団にご参加下さい

毎号の紙上で紹介しております『アジア、ゴム・プラスチック国際見本市』（略称ラバープラス）が、来年5月にシンガポールで開催されます。当工組では見本市視察団を派遣することになりました。さきに郵送しました視察団派遣要項をご参照のうえ、一人でも多く会員の皆さんにご参加下さるようお願いいたします。

A I U の労働災害総合保険を取扱中

当工組事務局はA I U保険の代理店として、労働災害保険を取扱っています。これは企業の安定と従業員の暮らしを守るキメ手にもなるこ

とですから、ぜひご利用下さい。どうか労働災害総合保険を希望される方は、組合事務局へご一報下されば説明資料を持ってうかがいます。

また、近くプラスチック加工工場の火災と危険についての講習会を開催計画していますのでご参加下さい。

自動車ローンをお大いにご利用下さい

県内自動車ディーラーと提携した『県プラ自動車ローン』は、好調な事業実績を重ねております。こんども制度を利用される企業や従業員の方は、ディーラーの営業マンと話し合う前に工組事務局へご相談下さい。

岐阜県のプラスチック
1979 32号

昭和54年8月5日印刷

昭和54年8月6日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番1号
(岐阜産業会館内)

電話(0582) 72-7173

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大松幸栄

編集 岐阜市大黒町3丁目5番地

電話(0582) 47-7231

中部パブリシティセンター

出光

の石油化学製品

◎取扱品目

ポリスチレン

高压ポリエチレン

中低压ポリエチレン

ポリプロピレン

A B S樹脂

不飽和ポリエステル

カルブ®

ポリカーボネート



出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-3111

名古屋営業所 名古屋市中区錦1-17-13(名興ビル) 〒460 ☎ 052-231-8611



写真は 岐阜の長良川のウ飼い

残暑
お見舞い
申し上げます。

岐阜県プラスチック工業組合
役員一同

岐阜プラスチック工業株式会社

取締役社長 大松 幸栄

本社 岐阜市神田町9丁目25 (大岐阜ビル6F)
TEL <0582> 65-2233 (代)

株式会社

東海ポリエチ工業所

取締役社長 大野 繁俊

本社工場 羽島郡岐南町野中宇州崎
TEL <0582> 46-1313 (代)

合 資 会 社

田中化学工業所

代表取締役 田中 弘一

本社 岐阜市島田中町23
TEL <0582> 52-1628

工場 関市小屋名520
TEL <05752> 8-2077

品質と技術の工業部品専門メーカー

武藤合成株式会社

代表取締役 武藤 昭三

本社工場 各務原市蘇原村雨町3の46
TEL <0583> 82-4361 (代)

ひまわり印家庭用雑貨

東和化成株式会社

代表取締役 納土栄一郎

本社・工場 岐阜市前一色3丁目5番16号
TEL<0582>45-5528(代)〒500
東京営業所 東京都中央区新富1丁目5番12号
TEL<03>551-6300〒104

バス・航空機・車輛・船舶用各種座席、航空機部品
強化プラスチック、太陽温水器

天龍工業株式会社

本社 岐阜県各務原市蘇原興亜町4丁目1
TEL<0583>82-4111(大代)

厚見プラスチック工業有限会社

代表取締役 真鍋義雄

本社 岐阜市上川手498番地
TEL<0582>45-1245

大垣プラスチック工業株式会社

取締役社長 日比正隆

本社工場 大垣市大島町2丁目394番地
TEL<0584>81-1347(代)
名古屋営業所 名古屋市東区代官町24
TEL<052>932-3945(代)

岐阜技研ポリマー株式会社

代表取締役 篠田 哲

本社 岐阜市長森岩地465の1
TEL<0582>45-8348
本社工場 岐阜市長森岩地清水145
TEL<0582>46-2541

合成樹脂原料製造販売
委託加工及カラーリング

美濃化学工業株式会社

代表取締役 吉田博司

本社 岐阜県美濃市上条62-1
TEL<05753>3-1888

パール化成製品株式会社

代表取締役 杉山日出雄

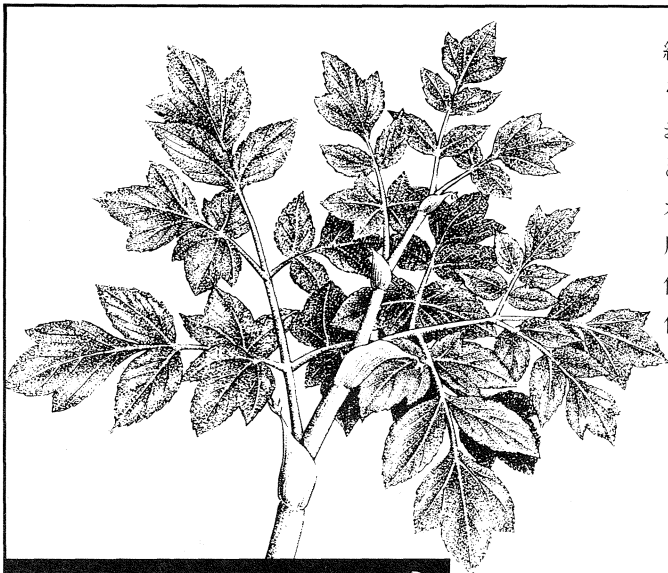
本社 岐阜市八坂町40
TEL<0582>71-0861(代)

関化成工業有限会社

代表取締役 林 光夫

本社 関市東町4の9の1
TEL<05752>2-1545(代)

工場 関市ひかり町
TEL<05752>2-4904



あ明し日た葉ぼ

今日切り取っても明日は再生しているとの意から、明日葉と呼ばれる。セリ科の大形多年草。わが国暖地の海浜に生じ、葉は大形の羽状複葉、ウドに似て光沢があり、淡緑色。非常に強壯で発育が速い。葉と茎は食用となる。

純国産無公害エネルギー“天然ガス”を原料に求め、モノマーからポリマーまでのメタクリル一貫生産メーカーとして、世界の五指に数えられる協和ガス化学工業。用途に合わせた高品質素材を安定供給するため“天然ガス”を大切に使っていきたい。

メタクリル樹脂・注型板

パラグラス®

メタクリル樹脂・押出板

コモグラス

メタクリル樹脂・成形材料

パラペット®



協和ガス化学工業株式会社

本社 / 〒103 東京都中央区日本橋3-8-2 新日本橋ビル ☎(03)277-3174
 大阪事務所 ☎(06)345-3901 / 名古屋営業所 ☎(052)951-6396
 福岡営業所 ☎(092)711-1530 / 仙台営業所 ☎(0222)66-1525



生きてる素材。
 三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 板状品

アクリライト®

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

アクリペット®

ABS樹脂

ダイヤペット® **ABS**



三菱レイヨン

東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711

染料 }
工業薬品 } 販売
合成樹脂 }

山田化成株式会社

取締役社長 山田正水

本社 〒101 東京都千代田区内神田2丁目8番4号
TEL (03) 256-7861(代)
名古屋出張所 〒460 名古屋市中区丸の内3丁目13番18号(サワニビル)
TEL (052) 961-6591(代)

UL・94-V0 認定材料

自己消火性樹脂

JSR NF94
JSR NC100

日本合成ゴム株式会社 本社/東京都中央区築地2-11-24 TEL(03)541-4111・名古屋支店/TEL(052)571-1231



ニーズに正確に
こたえることで
未来の扉をひらきます

産業や生活のあらゆる分野で、便利さや快適さを生みだしているプラスチック。このすぐれた特性をコントロールして、繁栄のためによりよく活用しなければなりません。信越ポリマーはプラスチックを主な素材として、各種の製品を多角的に開発、生産、販売しています。一方、これらの製造や流通のプロセスにあたって、安全や環境の保全にも十分配慮し、時代と社会のニーズにこたえる新しい価値づくりを進めています。

新しい素材を価値あるものに

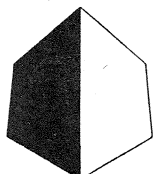
 信越ポリマー

名古屋支店 名古屋市中村区名駅4丁目27番23号 (新名古屋ビル)

信越P.V.C.

塩ビは信越……と評価されている理由

- 信越化学は系列の日信化学と合わせ、量・質ともにトップメーカーです。原料から一貫生産を行ない、常に新タイプの開発にとりこんでいます。応用面の研究も充実しています。
- グループの一翼である信越ポリマーを通じて需要家のニーズを品質に生かします。
- 工場の1つに、130M'の大型重合器を備えコンピューター操作による最新鋭工場を有しています。



Shinetsu

信越化学

本社 東京都千代田区大手町2-6-1 電話(03)242-1211(大代表)
名古屋支店 名古屋市中村区名駅4丁目27番23号 (新名古屋ビル)
電話代表 581-6511

日精はお応えします。

コストダウン・品質の向上・省資源の成形に…

コストダウン・品質の向上・省資源がますます要求される今日。より高度な技術力、柔軟な開発姿勢で対処していかなければなりません。日精は豊かな技術力と実績とによって、モルダーのあらゆるご要望にお応えしています。付加価値の高い成形は、日精の成形機こそが、お役に立つことをお約束します。

NISSEI
P

1歩進んだ射出成形機をおとどける
日精樹脂工業株式会社

本社・工場 長野県坂城町 ☎(02688)2-3000(大代) 389-06 名古屋営業所 ☎(052)732-0261(代)
岐阜出張所 岐阜市西部4962-1(茜ビル) ☎(0582)72-5952

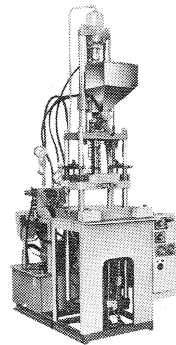
さんじょうの射出成形機!!

精密工業部品、インサート成形に特に適した機械と定評を頂いております。

射出量5グラム(3/6オンス)より600グラム(20オンス)までの各機種を製作いたしておりますので、用途に合わせてご用意下さい。

— 営業品目 —

- 熱可塑性樹脂及び熱硬化性樹脂、ゴム用射出成形機
- ロストワックス用ワックス成形機、ワックス溶融装置、保温装置
- 液状原料用射出成形機、注入機、混合脱泡機
- セラミック用射出成形機
- 当社射出成形機用金型
- その他関連装置



●カタログご希望の方は紙名ご記入の上お申込み下さい。
—成形機・金型・関連装置を社内一貫生産している専門メーカー—

株式会社 山城精機製作所

本社	東京都板橋区弥生町32番地	TEL(03) 972-0561(代)
業務部・工場	埼玉県川口市中青木2丁目18-21	TEL(0482) 51-6156(代)
名古屋営業所	名古屋市北区楠町味鋳政所28番地	TEL(052) 901-5861番
大阪営業所	TEL(06) 443-3771(代)	八王子出張所 TEL(0426) 51-7144番
九州営業所	TEL(092) 571-2740番	小倉出張所 TEL(093) 471-1079番
前橋営業所	TEL(0272) 52-0733番	城南出張所 TEL(03) 776-2254番
広島出張所	TEL(0822) 32-2785番	沼津出張所 TEL(0559) 22-9610番



リスのプラスチック



今、新しい テーブルウェアの たび だち 出発。

ノーブル(英語)とは“高貴”という意味、その名にふさわしいテーブルウェアとして、リスの一貫したデザインポリシーから生まれたメタクリル樹脂の最高級品です。

RISU
Noble
ノーブル

岐阜プラスチック工業株式会社

本社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F) TEL<0582>65-2233(代)
稲羽工場 岐阜県各務原市前渡東町3620 TEL<0583>86-9311(代)
支店 東京・大阪・名古屋・福岡 営業所 高松・広島・仙台・札幌・宇都宮